



本ばこ

ほん

— 新刊教材・図書紹介 —

しん かん きょうざい と しょしょうかい

日本語の教室に笑い声を!

『日本語教師のための楽しく教える活動集 22』

子ブタの日本語お道具箱

著者：辻亜希子・小原千佳

出版社：アルク

URL: <http://www.alc.co.jp/>

発行年月：2012年2月

ISBN: 978-4-7574-2080-9

判型・頁数：B5判 221頁 定価：2,500円(税込み)



本書は初・中級日本語学習者向けの教室活動集です。著者自らが「エンターテインメント教材」と呼んでいるように、日本語を楽しく、らくに学べるように様々な活動が紹介されています。特にボランティア教室、日本語学校、小・中学校での日本語指導にあたる先生方におすすめです。ただし、ブタのキャラクターは、学習者の宗教によっては使用を避けたほうがいい場合があるかもしれませんので、適宜、判断をお願いします。

▽全体構成

「日本語学習」「生活の中から」「日本文化体験」「ゲームとワーク」の4分野のもと、表のような22のテーマ(課)からなり、全部で87の活動を提案しています。学習者のレベルや興味に合ったものを選んでそのまま使用できますが、教師が自分の学習者に合わせて工夫して使えば、より楽しく効果的な授業になるでしょう。

表：目次

分野	課	タイトル	分野	課	タイトル	
日本語学習	1	五十音の文字を学ぶ	日本文化体験	1	日本文化を知る	
	2	自動詞・他動詞を学ぶ		2	贈り物の習慣	
	3	教え方を学ぶ		3	俳句を作ってみる	
	4	時の表現を学ぶ		4	年賀状を書いている	
	5	擬音語・擬態語を学ぶ		5	慣用語を知る	
	6	比較する表現を学ぶ	ゲームとワーク	1	福笑いで、顔を表現	
	7	敬語を学ぶ		2	新聞を作ろう	
	8	語彙を増やす		3	文型の復習をしながら	
	9	ストーリーを作る		4	「ブタえもん」を作ろう	
生活の中から	1	病院・薬局で使う表現			4	文型復習総まとめ
	2	地図を見ながら道順を説明する				
	3	路線図を見ながら移動する				
	4	料理・食事の表現				

▽特徴

①学習者のための楽しい教室活動

本書のいちばんの特徴は、楽しい教室活動が集められているという点です。巻末には絵カードやワークシートがあり、これを使ったゲーム仕立ての活動が数多く紹介されています。

基本的に、文型シラバスの教科書を補完するのに良さそうなものが中心ですが、日本での生活に役に立つ知識や日本文化も含まれています。

②教師のための教え方のヒント

教師にとっては、教授法を学ぶためにも役に立ちます。例えば「時の表現を学ぶ」というテーマには、巻末のワークシートを使った5種類の活動があり、カードやワークシートの様々な使い方を知る上で参考になります。さらに指導上の注意点や学習項目の説明などが随所にあるので、授業準備のときに便利です。使いたい課の活動はできるだけ全部に目を通し、学習者の笑顔を思い浮かべながら、どれがいちばんいいか、選びましょう。楽しく学べる良い授業になりますように!

日本語学習

4時 時の表現を学ぶ

この課で使う絵カードなど

146 時の表現学習カレンダー

147 絵カード1
出展: 読書、カラオケ、勉強

148 絵カード2
パカス、誕生日、健康診断、デート

149 絵カード3
読書、音楽、サッカー、テニス

使い方1 日にちの読み方を知る

使用教材: 時の表現学習カレンダー 1人に1枚用意する。

1日は「いちにち」だが、一日中は「いちにちじゅう」のように、同じ漢字でも読み方も意味も異なる場合がある。日にち特有の読み方もここで覚えさせる。

① 時の表現学習カレンダーの日にちの読み方の漢字の順序を確認して決める。

② 読み方を確認しながら、枠内を書かせる。クラス活動にする場合は、大きくコピーしたカレンダーをホワイトボードに貼って、みんなで確認していく方法もある。

覚えるまで何度か出して読ませる。

使い方2 日にちの言い方を知る

使用教材: 時の表現学習カレンダー 1人に1枚用意する。

① 時の表現学習カレンダーに、時を表す特別な表現と、普段使う表現があるもので、まだ読み方を十分覚える。

② 次に、このカレンダーを見ながら質問していく。正しく理解できているかを確認する。(9日は17日とする)

例) A: 8日は何曜日ですか。 → B: 18日です。
A: 来週の金曜日は何曜日ですか。 → B: 26日です。
A: 7日(なのか)は何曜日ですか。 → B: 18日です。

③ 慣れたら、学習者の手帳、教室に貼ってあるカレンダーなど、身近にあるものを使って、練習しましょう。

ポイント

- カレンダーや手帳は、さまざまな形式のものを用意するとよい。
- 「次の日/日の日は?」など、日にちが決まらないものを質問してもよい。(10月の第0日曜日)などの言い方も覚えさせる。「誕生日はいつ? 何曜日?」なども質問してみる。

このコーナーの担当者：来嶋洋美 / 日本語国際センター専任講師